

別添 7-5 (第 3 の 2 関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 兵庫県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産 G A P 指導活動 の推進	畜産 G A P 指導 農業者数 10 経営体	12 経営体	120%	A	115, 601	115, 601	
II 日本版畜産 G A P 等認証の 取得拡大	畜産 G A P 認証 の取得等経営体 数 1 経営体	1 経営体	100%	A	342, 800	150, 000	
事業の成果 ・ 畜産 GAP の普及を図るため、畜産 GAP に関心を持つ 12 農場に対して「畜産 GAP をする」又は「畜産 GAP 認証取得」を推進する現地指導を行った。 ・ JGAP 認証取得に取り組んでいた 1 農場が、令和 3 年 11 月 5 日付けで JGAP の認証を取得した。 ・ 新たに 1 農場が令和 4 年度に認証を取得すべく具体的な準備活動に入った。							
都道府県による評価 ・ 現状の畜産 GAP を取り巻く環境下では認証取得による直接的な畜産経営体へのメリットが少ない中、認証取得作業を開始する経営体を確保し、年度内に認証を取得することができた。また、それに続く事例として、令和 4 年度内取得を目指して準備に取りかかった経営体もあり、おおむね順調に推進することができた。							
国による評価 ・ 新規で 1 名の JGAP 指導員の育成により、指導員は 19 名（令和 3 年度末現在）となり、県内の畜産 G A P 指導体制の強化が図られた。 ・ 指導活動の推進については、目標を 2 農場上回る 12 農場に対し現地指導を実施し、また認証の取得拡大については、JGAP 認証取得に取り組んでいた 1 農場（採卵鶏農場）が目標どおり認証取得するなど、いずれも成果目標を達成しており、畜産 G A P の拡大及び推進に寄与したものとなっている。							